

ハヤブサ

今回は門田恭二さんから写真をお借りしました。ハヤブサと言えば、名前だけはみなさんご存知でしょう。昨年 12 月、田戸岬のあたりで撮影されたそうです。遠出しなければ見ることができない鳥のように思われがちですが、意外にも身近なところを飛んでいるようです。

ハヤブサの仲間には、チゴハヤブサやチヨウゲンボウなど数種類あって、ハヤブサ科としてまとめられます。近縁な科をまとめて、目(もく)と呼ぶことはご存じでしょうか。ハヤブサ科は、タカ科、ミサゴ科といっしょにタカ目に入れられていたのですが、近年、1 科で独立したハヤブサ目というあつかいになりました。

これだけなら、「詳しく調べたら、けっこう違いが大きかったのね、よくあること」くらいの感想で済ませるのですが、驚いたのは、分類の位置関係が大はばに変わったことです。新しい目録では、スズメ目の隣に置かれています。

スズメ目というのは、スズメ・ウグイス・ヒヨドリ・カラスなど、私たちに身近な鳥の多くを含む大きなグループです。ハヤブサがタカに似ているのは、まったくの他人のそら似だったわけですね。

